

Borland®

Silk Central 16.5

リリースノート

**Borland Software Corporation
700 King Farm Blvd, Suite 400
Rockville, MD 20850**

Copyright © Micro Focus 2015. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2015 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2015-09-29

目次

Silk Central 16.5 リリース ノート	4
Silk Central 16.5 の新機能	5
Microsoft Windows 10 と新しい Web ブラウザー Edge のサポート	5
キーワード駆動テストの強化	5
手動テストの強化	6
ユーザー インターフェイスの改善	7
Silk Performer パフォーマンス傾向ダッシュボード パネル	7
LDAP 統合の改善 (ユーザー アカウントの自動作成など)	7
結果と結果ファイルの自動削除	8
共有ステップ オブジェクトのエクスポートと更新	8
統合の強化	8
AccuRev ソース管理プロファイル統合	8
Bugzilla 4.4.9 と 5.0 のサポート	8
Git 2.5.0 のサポート	8
JIRA 統合の強化	8
Team Foundation Server 2015 のサポート	9
ユーザビリティ機能の強化	9
自動テストのバージョン管理	9
テストの詳細の PDF 印刷とダウンロード	9
要件やテストからのファイルのダウンロード	9
データ駆動型テストの強化	9
未実行ステータスのテストの再実行	9
手動テストの自動化用 API	9
問題通知の件名への製品のコンポーネントの表示	10
使用技術の更新	10
システム要件および前提条件	11
Micro Focus へのお問い合わせ	13
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	13
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	14
サポートの終了	16
予定されているサポートの終了	17

Silk Central 16.5 リリースノート

バージョン 16.5

2015年9月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 16.5 の新機能

Silk Central 16.5 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

Microsoft Windows 10 と新しい Web ブラウザー Edge のサポート



Silk Central 16.5 を使用すると、Microsoft Windows 10 上で手動テストや自動テストを実行でき、Microsoft Edge を使用して Silk Central で作業できます。

すべての既存の機能テスト、回帰テスト、ローカライズ テストを Microsoft Windows 10 上で実行したり、Microsoft Windows 10 で導入された特定の機能をテストするために新しいテストを作成することができます。

制限事項：Microsoft Edge と Google Chrome は NPAPI をサポートしないため、手動テスト ウィンドウで、ビデオ録画、スクリーン キャプチャ、コード カバレッジの記録を行うことはできません。制限事項についての詳細と回避策については、SupportLine にお問い合わせください。

キーワード駆動テストの強化

キーワード、キーワードシーケンス、キーワード駆動テストを Silk Test クライアントで直接開く

選択したライブラリの **キーワード** タブに、Silk Test クライアントでキーワードに直接アクセスするためのアクションが提供されるようになりました。ドラフト キーワードを実装するには、 をクリックし、実装済みのキーワードを編集するには、 をクリックします。さらに、新しいボタン **Silk Test で開く** を使用すると、選択したテストまたはキーワード シーケンス全体を Silk Test クライアントで直接アクセスできます。

コマンド ラインからのキーワード ライブラリの更新

Java ベースのコマンド ラインを使用して、外部のキーワード ライブラリを更新できるようになりました。これにより、Silk Central とキーワード駆動テストをご使用中の継続的インテグレーション ビルドシステム (Jenkins など) に統合することができます。

キーワードの推薦

キーワード駆動テスト エディター でキーワード駆動テストにキーワードを追加するとき、Silk Central は、そのテストの次のキーワードとして使用する可能性のある既存のキーワードを推薦します。推薦するキーワードはキーワード リストの上位にリストされ、Silk Central がどの程度そのキーワードを推薦しているかが、棒グラフの塗りつぶした長さによって示されます。


キーワードへのすべての参照を一度に表示


特定のキーワードまたはキーワード シーケンスを参照するすべてのテストおよびキーワード シーケンスを表示するには、キーワード リストから適切な項目を選択します。すると、**参照元** リストにすべての参照しているキーワード駆動テストとキーワード シーケンスが表示されます。名前をクリックすると対応する参照に移動します。

キーワードへの参照の置換

選択したキーワードまたはキーワード シーケンスへの参照を他で置換するには、キーワード リストから適切な項目を選択し、**参照元** リストから参照を置換するオブジェクトを選択します。

キーワード シーケンスをドラフト キーワードに変換


誤ってキーワード シーケンスを作成した場合、ドラフト キーワードに戻すことができます。変換するキーワード シーケンスの**アクション**列で、 (**ドラフト キーワードに変換**) をクリックします。

 **注:** キーワード シーケンスをドラフト キーワードに変換すると、シーケンスおよびすべての含まれるキーワードは削除されます。このアクションは元に戻すことはできません。

ライブラリ内のドラフト キーワードの検索

選択したテストまたはキーワード シーケンスのドラフト キーワードを含むライブラリに移動したい場合、エディタ ページの右上にある **ドラフト キーワード** をクリックします。

ユーザビリティ機能の強化

キーワード シーケンスに含まれるキーワードを、**すべてのキーワード** ペインでキーワード シーケンス () をクリックするか、または **キーワードを開く** アイコンにマウスを移動させることで、簡単に表示できるようになりました。

手動テストの強化

手動テスト領域に対して行われたユーザビリティの強化を一覧します。

テストの割り当てにおけるコンテナ/フォルダによる手動テストのフィルタ

手動実行計画 ページの **フィルタ条件** 領域に、コンテナ/テスト階層が表示されるようになりました。

コンテナまたはフォルダを選択すると、選択したノードの子のテストだけが **一致したテスト** 領域に表示されます。

手動実行計画ユニットのユーザー固有の設定

手動実行計画 ページで、ページから離れた後でもすべてのユーザーの個々の設定が保存されるようになりました。再び **手動実行計画** ページに戻ったときに、前回選択していたフィルタなどの設定、コンテナ、フォルダ、テスト サイクルなどの表示が、前にページから離れたときのままの状態が保持されます。

手動テスト ダッシュボード パネルの追加情報

ダッシュボード パネルの **ユーザーに割り当てられた手動テスト** や **現在実行中の手動テストのステータス** に、テストが含まれているパス (フォルダ) 構造を表示する列や、定義した属性それぞれの列が追加されました。これにより、ソートやフィルタを使って、目的のテストのみを表示できるようになりました。

構成の割り当ての改善

構成の指定 ダイアログ ボックスが完全に新しくなり、いままでよりも構成の割り当てが簡単に効率よく行えるようになりました。

手動テスト結果ビューの改善

手動テスト結果 ビューの構造がよりわかりやすくなり、テスト サイクルの説明、開始日、終了日、実行時間など、さらに多くの情報が表示されるようになりました。これは、手動テスト結果を PDF で送信する場合に特に有用です。Silk Central 内で詳細を調べることなく、すべての重要な情報を PDF から読み取ることができます。

オフライン実行用テストのダウンロードへの属性と添付情報の追加

オフライン実行用に手動テストをダウンロードするとき、テスト属性と添付情報を含めることができました。すべての属性がダウンロードした Excel シートに含まれるため、これらの属性でテストをフィルタすることができます。

テスト サイクルでの製品のバージョンとビルドの指定

テスト サイクルを開始するとき、テストする製品のバージョンとビルドを指定できるようになりました。テスト サイクルを開始した後でも、必要に応じてバージョンとビルド情報を更新できます。

最上位での実行コメントの指定

手動テスト ウィンドウや、オフライン実行用にダウンロードした手動テストで、テスト実行の最上位の項目としてコメントを入力できるようになりました。このコメントはテスト実行グリッドに表示されるので、テスト実行のレビュー プロセスの効率化に役立ちます。

Excel ファイルからのテスト インポート時の改行の保持

複数行のセルを持つ Excel ファイルからテストをインポートしたとき、これらの改行が Silk Central で保持されるようになりました。

ユーザー インターフェイスの改善

テスト、コンテナ、テスト フォルダ プロパティの効率的な構造化情報

選択したテスト、コンテナ、フォルダの **プロパティ** ページに、最も重要な情報のみが表示されるようになりました。このページの各セクションは、必要に応じて展開したり、折りたたんだりすることができます。これにより、個々のユーザーに必要な情報を表示するようにカスタマイズできます。さらに、属性、パラメータ、添付情報、データ セットに関する情報がこのページに組み込まれたため、必要な情報にアクセスするために、いくつかのタブを渡り歩く必要がなくなりました。

実行フォルダ、実行計画、テスト サイクル、構成スイート プロパティの効率的な構造化情報

選択した実行フォルダ、実行計画、テスト サイクル、構成スイートの **プロパティ** ページに、最も重要な情報のみが表示されるようになりました。このページの各セクションは、必要に応じて展開したり、折りたたんだりすることができます。これにより、個々のユーザーに必要な情報を表示するようにカスタマイズできます。さらに、パラメータやテストのセットアップとクリーンアップに関する情報がこのページに組み込まれたため、必要な情報にアクセスするために、いくつかのタブを渡り歩く必要がなくなりました。

Silk Performer パフォーマンス傾向ダッシュボード パネル

Silk Performer パフォーマンス傾向 パネルには、選択した Silk Performer 負荷テストの最近の実行の傾向情報や現在のステータスと利用可能な結果が表示されます。

LDAP 統合の改善 (ユーザー アカウントの自動作成など)

Silk Central の LDAP 統合が改善され、Silk Central のユーザー アカウントを自動的に作成できるようになりました。

ユーザー アカウントの自動作成

Silk Central が自動的に Silk Central ユーザー アカウントを作成するタイミングを、ユーザーが Silk Central に始めてログインしたときに限定することができます。入力したログイン名のユーザー アカウ

トが Silk Central に存在しない場合、入力した認証情報は LDAP サーバーによって認証されます。認証に成功すると、入力したログイン名とパスワードをもつ新しいアカウントが Silk Central に作成されます。新しく作成されたアカウントに対して、あらかじめテンプレートとして選択された Silk Central ユーザーの汎用的な設定値が最初にコピーされます。氏名とメールアドレスが LDAP 値からクエリされます。

LDAP サーバーの優先順位

LDAP サーバー ページの **順序** 列に番号を指定して、認証の問い合わせを行う LDAP サーバーの優先順位を指定できるようになりました。

結果と結果ファイルの自動削除

実行計画を実行すると、結果と結果ファイルが収集され、その総量は徐々に増加していきます。しばらくたつと、ほとんどの結果はもはや意味を持たなくなり、重要な情報だけを残すことで結果を管理しやすくなります。Silk Central では、必要の無くなった結果と結果ファイルを自動的にクリーンアップするルールを定義できます。

未割り当てテストの結果のクリーンアップも管理できるようにするため、実行計画領域と手動テスト結果に、見割り当てテストが表示されるようになりました。また、**テスト > 実行** ページや、手動テストのダッシュボード パネルからリンクされるようになりました。未割り当てテスト用のクリーンアップルールを定義するには、**実行計画** ツリーで **未割り当てテスト** ノードを選択します。未割り当てテストには、アップロードした Silk Performer テストや試験実行のような項目が含まれます。

共有ステップ オブジェクトのエクスポートと更新

ライブラリのすべての共有ステップ オブジェクトをエクスポートし、Excel で編集してから Silk Central に戻して更新できるようになりました。

この機能は、一括して編集を行いたい場合に特に便利です。

統合の強化

このセクションは、Silk Central で行った統合の強化の一覧を提供します。

AccuRev ソース管理プロファイル統合

Silk Central は、新しいソース管理プロファイル プラグインとして AccuRev をサポートするようになりました。

Bugzilla 4.4.9 と 5.0 のサポート

Silk Central 16.5 で、Bugzilla 4.4.9 と 5.0 がサポートされるようになりました。

Git 2.5.0 のサポート

Silk Central 16.5 では、Git 2.5.0 をサポートするようになりました。

JIRA 統合の強化

JIRA フィールド タイプの選択リスト (複数行) (Select list (multiple choices)) が、Silk Central の複数選択リストとして表示されるようになりました。さらに、Silk Central に JIRA の課題を追加するときに、選択した JIRA 課題タイプに必要なフィールドだけが表示されるようになりました。

Team Foundation Server 2015 のサポート

Silk Central 16.5 は、Team Foundation Server 2015 をサポートするようになりました。

ユーザビリティ機能の強化

このセクションでは、Silk Central 全体で行われたユーザビリティ機能の強化の一覧を提供します。

自動テストのバージョン管理

共有オブジェクト (ステップとキーワード)、手動テスト、キーワード駆動テストのバージョンに加えて、自動テストの手動部分のバージョンを作成できるようになりました。

テストの詳細の PDF 印刷とダウンロード

従来の機能である手動テストの詳細を PDF として印刷したりダウンロードする機能が、すべてのテストタイプをサポートするように拡張されました。さらに、**テスト ツリーのフォルダを右クリックして、テストの詳細の印刷** を選択すると、含まれるすべてのテストに対するテストの詳細の印刷およびダウンロードを行えるようになりました。

要件やテストからのファイルのダウンロード

要件やテスト コンテナ、フォルダ、テスト、またはテスト ステップから、すべての添付ファイルを 1 クリックでダウンロードできるようになりました。

データ駆動型テストの強化

データ駆動型テスト領域に対して行われたユーザビリティの強化を一覧します。

事前定義パラメータとして親のテスト情報を渡す

データ駆動テストに対して、親のテストの名前や識別子が事前定義パラメータとして渡されるようになりました。

データソースの効率的な管理

大量のデータソース ファイルを使って作業する場合、データソースの管理が以前よりかなり容易になりました。**データソース** ページに、データファイルをホストする**ファイル名**と**ソース管理プロファイル**の列が表示されるようになったため、これらの情報を使ってデータソースをソートしたりフィルタすることができます。

未実行ステータスのテストの再実行

未実行ステータスを持つ実行計画のすべてのテストを再実行するように選択できるようになりました。

手動テストの自動化用 API

新しいメソッド `automateTest` が `IPlanningService` Web サービスに追加され、手動テストから自動テストへの変換処理を自動化できるようになりました。

利用可能な Java クラスやメソッドに関する詳細については、[Javadoc](#) を参照してください。このリンクが動作しなかった場合には、Silk Central メニューの **ヘルプ > ドキュメント > Silk Central API 仕様** を選択して、Javadoc を開いてください。

問題通知の件名への製品のコンポーネントの表示

システム全体のトリガに新しいパラメータが追加され、問題通知メッセージの件名に製品のコンポーネントを表示できるようになりました。

使用技術の更新

Apache Tomcat 8 のサポート

Silk Central では、Apache Tomcat 8 が同梱されるようになりました。

Microsoft SQL Server 2014 SP1 のサポート

Silk Central 16.5 では、Microsoft SQL Server 2014 SP1 をサポートするようになりました。

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 6 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、 データベース管理システム、 Web サーバー	テスト済みおよびサポートされているソフトウェア を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)



注: Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*Silk Central 16.5 インストール ヘルプ*』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象アプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB

システム領域	要件
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none"> • Google Chrome • Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外) • Mozilla Firefox • Microsoft Edge <p>制限事項: Microsoft Edge と Google Chrome は NPAPI をサポートしないため、手動テスト ウィンドウで、ビデオ録画、スクリーン キャプチャ、コード カバレッジの記録を行うことはできません。制限事項についての詳細と回避策については、SupportLine にお問い合わせください。</p>

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 51 以降 が必要です。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った Electronic Product Delivery Notice 電子メールの件名および本文に記述されています。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central16.5 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 10 (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox
- Microsoft Edge

制限事項：Microsoft Edge と Google Chrome は NPAPI をサポートしないため、手動テスト ウィンドウで、ビデオ録画、スクリーン キャプチャ、コード カバレッジの記録を行うことはできません。制限事項についての詳細と回避策については、SupportLine にお問い合わせください。

サポートする Web サーバー

- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 3
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2014 サービス パック 1
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- AccuRev 6.2
- CaliberRM 10.1、10.2
- Caliber 11.3、11.4
- Silk Performer 16.0、16.5
- Silk Test 16.5
- StarTeam 14.3、14.4
- Silk TestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 5、6
- Atlassian JIRA Agile 6
- Bugzilla 4.4.9、5.0
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2010 SP1、Changepoint 2009、Changepoint 2009 SP2)
- Git 2.5.0
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational RequisitePro 7.1.3、7.1.4
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2010、2012、2013
- Rally
- SAP Solution Manager 7.1
- Serena Version Manager (PVCS) 8.1.4 (Version Manager 8.1.4)
- Subversion 1.8.5
- Team Foundation Server 2010、2012、2013、2015
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

サポートの終了

このトピックでは、Silk Central 16.5 ではサポートされなくなる機能を示します。

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 および IIS 6

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 および IIS 6 は、Silk Central 16.5 でサポートされません。

Oracle 10g

Oracle 10g は、Silk Central 16.5 でサポートされません。

RequirementsDocumentsService Web サービス

RequirementsDocumentsService Web サービス (/services/tmrequirementsdocuments) は、Silk Central 16.5 でサポートされません。代わりに、常時保守されている Requirements Web サービスを使用してください。

予定されているサポートの終了

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

Compuware Quality Manager (Changepoint)

将来のリリースでは、Compuware Quality Manager (Changepoint) はサポートされなくなる予定です。

Serena Version Manager (PVCS)

将来のリリースでは、Serena Version Manager (PVCS) はサポートされなくなる予定です。

データ駆動型オプション

将来のリリースでは、異なる入力データを用いたテストを実行する機能が簡略化されます。異なるデータの行は **テスト** 領域で表示されなくなり、結果領域のみで表示されるようになります。失敗した単一データ行を再実行することは可能です。

リンクされたテスト コンテナ

将来のリリースでは、リンクされたテスト コンテナは削除されます。Silk Central におけるこの機能の主な目的は、Silk Test Classic 計画ファイルのインポートをサポートすることでしたが、テスト パッケージ機能を使用することによって、実行するたびに Silk Central のテスト構造が更新されるためメンテナンス作業を軽減することができ、より良く Silk Test Classic 計画ファイル テスト タイプをサポートすることができます。

混在した実行計画

将来のリリースでは、自動実行計画で 1 つの実行計画に自動テストと手動テストを混在させることはサポートされなくなります。手動テストと自動テストのより洗練された組み合わせは、依存関係によって実現可能です。